

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ソルスクエア メイツ中央林間	階数	地上8F
建設地	大和町下鶴間字乙一749番9	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	343 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年2月8日
敷地面積	3,729 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,425 m ²	確認日	2011年2月8日
延床面積	7,723 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

建設 修繕・更新・解体 運用

参照値 100%

評価対象 77%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項	
総合 周辺の自然環境を活かし、緑の恵みを楽しみながら暮らすことのできる『自然環境共生型住空間』の形成を目指します。	その他 0
Q1 室内環境 安心・安全・快適な毎日の生活を居住者に提供し、心豊かに暮らせる住環境を創出します。	Q2 サービス性能 住戸の採光・換気・室温維持及び内装材への配慮を行い、機能的かつ快適で安全な室内環境を創出します。
LR1 エネルギー 潜熱回収型の給湯器を各住戸に設置し、エネルギーの消費削減に努める建物計画とします。	LR2 資源・マテリアル 住戸内の一部の建材に再生利用材を使用し、環境負荷の抑制や自然エネルギーの利用を促進し、地球環境負荷の低減を図ります。
	Q3 室外環境(敷地内) 周囲への圧迫感や長大感の軽減に配慮した住棟配置とし、緑豊かな周辺環境と調和した空間を形成します。
	LR3 敷地外環境 住棟建物の分節化を図り、建物の隅角部に植栽を施し、風環境に配慮する等、敷地外環境に配慮した計画とします。また、一部の既存樹木を残し景観形成と環境づくりに配慮した計画とします。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい